

今回は、電子部品の調達状況や価格改定について、商社様からの情報をお伝えします。

## 部品の調達について

### [能登半島地震による仕入れ先の状況について]

まず、新年に石川県能登地域で発生した地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

この地震は「建物の損壊・破損」「生産ラインや設備などの被害」「ライフラインやインフラへの影響」「従業員や家族が被災」など甚大な被害をもたらしました。能登半島に工場を置く主要企業を対象にした帝国データバンクの調査では、震災後に生産を再開できた企業は15日時点で2割にとどまっているとのこと。一方、再開時期が未定は4割近くで、生産再開に向けた復旧作業は当面続く見通しとのこと。影響はさまざまな企業におよびますが、弊社に関係する部材の仕入れ先の状況は下表の通りで、完全復旧までにはもう少し時間がかかりそうです。

仕入先、メーカー	状況	生産部品
株式会社小松村田製作所	1/9から順次生産開始	モジュール(モバイル、オートモーティブ、IoT、RF-ID)
株式会社氷見村田製作所	2月上旬から順次生産再開予定	セラミックフィルタ、セラミック発振子
株式会社ハクイ村田製作所	1/11から順次生産開始	圧電ブザー、超音波センサ、ショックセンサ、圧電フィルムセンサ CO2センサ、セラミックフィルタ、セラミック発振子
株式会社ワクラ村田製作所	3月上旬から順次生産再開予定	メトロサーク(樹脂多層基板)
株式会社穴水村田製作所	生産再開は5月中旬以降の見通し	インダクタ(コイル)、ノイズ対策部品/EMI除去フィルタ
鹿島興亜電工株式会社 中能登工場	1/15より稼働再開	角形チップ抵抗器、金属板チップ形低抵抗器
石川サンケン株式会社 堀松工場 志賀工場 能登工場	2月上旬の再開を目指して復旧活動中 電力復旧が遅れ今しばらく時間が必要 2月上旬の再開を目指して復旧活動中	パワーモジュール、パワーデバイス
加賀東芝エレクトロニクス株式会社	2月上旬目標で復旧活動中	トランジスタ、ダイオード、IC、フォトカプラー

### [AMD社(ザイリンクスを買収)のEOL通知]

販売需要の低下と必要部品の供給終了を受けて、XC9500XL、CoolRunner XPLA 3、CoolRunner II、Spartan II、およびSpartan 3/3A/3AN/3E/3ADSP製品ファミリの製造を中止することとなりました。メーカー最終受注日は2024年6月29日とのこと。

## 価格改定(値上げ)の通知

昨年末から年明けにかけて、商社様から価格改定の通知が届いております。

メーカー	上昇率	適用時期	対象製品 / 理由
RENESAS社	10%	2024年1月1日 出荷分から	・価格改定の対象製品は、古い製造設備を使って製造している製品群が中心となります。 ・それら製品群の多くは、性能面、価格面、安定調達の点で新製品への切り替わりが加速しており結果、旧製造装置で生産している製品が減少し、1個当たりの製造コストは年々上昇しています。
Analog Devices社	10~15%	2024年2月5日 納入分から	・Vintage品の生産・出荷数量が減少する中、ランニングコストおよび保守費用の増加に伴い、ADI社として今後も生産を継続する上で、対象製品の価格改定をお願いする事となりました。
COSEL社	10~30%	2024年2月1日 受注分から	・電源、ノイズフィルター製品全般 ・原材料費、動力費、物流費などのコスト上昇が続いているためです。
山洋電気(株)	10~40%	2024年1月1日 受注分から	・DCファン、ACDCファン、アクセサリ ・原材料価格の上昇やエネルギーコストの高騰が続いているためです。
HARTING社	3~30%	2023年10月1日 出荷分から	・コネクタ、ハウジング ・昨今の為替レートの変動(円安・ユーロ高)が企業努力で吸収できるレベルを超えているためです。

昨年も価格の高騰についてお伝えしましたが、今年も値上げは続いています。調達コストの増大は弊社のような電子機器製造業だけではなく、製造業界全体で深刻な問題になっています。引き続き情報収集に努めて参ります。